

航空宇宙特区に参加へ

上田・長野市、県東北部で初

長野県上田市と長野市が、航空関連企業を支援する国家戦略特区「アジア・1航空宇宙産業クラスター形成特区」への参加を申請したことがわかった。上田市に工場を持つ都筑製作所（坂城町）と長野市の長野鍛工が特区制度に基づき、税制優遇などを受けられるようになる。県東北部の市町村の参加は初で、県が旗を振る航空産業振興にはずみがつく。

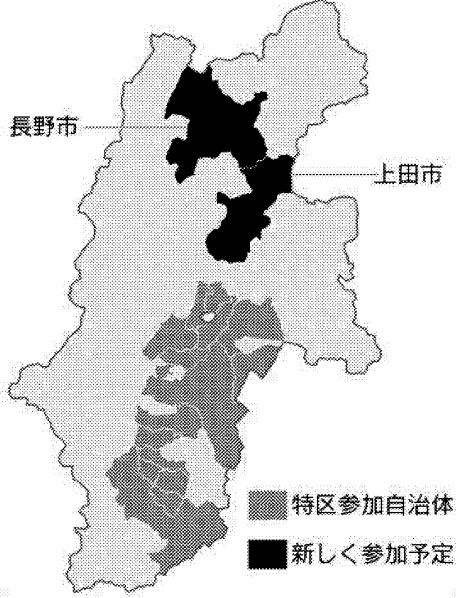
県内、産業振興に弾み

11月にも政府が開く国では飯田市や諏訪市など家戦略特別区域諮問会議 県南部の自治体や企業が正式に認められる方向 参加している。都筑製作所や長野鍛工の工場周辺が特区エリアとなる。特区に参加した企業は自動車・建機部品の製造だが、2017年に航空宇宙産業の品質管理資



都筑製作所は特区への参加を事業拡大につなげる（同社の航空部品関連工場）

長野市と上田市の参加で特区は県全域に



■ 特区参加自治体
■ 新しく参加予定

格「JISQ9100」を取得し、航空宇宙分野に本格参入した。現在は航空機エンジン関連の小型部品を製造している。20年2月には約6000万円を投じて新たな加工機械を導入し、中型部品の生産を始める予定だ。

か、設備投資をした際に法人税の特別償却や税額控除が受けられる。資金調達の際には、利子補給を受けられる。都筑製作所の主要事業は自動車・建機部品の製造だが、2017年に航空宇宙産業の品質管理資

術や意欲の向上や、会社向け、試作を繰り返してのブランド力につながる（同社）という。長野鍛工は自動車のターボチャージャー（過給器）用バルブ国内最大手。12年にJISQ9100を取得し、航空産業向け部品の測定に使う治具などを生産する。近年は航空部品の生産品目拡大に

企業数は61にのぼる。長野市と上田市が参加すれば、17市町村になる。長野県内の航空機産業を25年に100社にすることを目指している。目標達成には南部だけでなく東信・北信地方の企業の参画が欠かせなかった。長野市・上田市が特区に加わり、県の製造業振興策に弾みがつく。